

2025年 3月10日

第429号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

【電話】 03-6802-4250

【HP】 <http://zendaikyo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル 2 階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

2 2025年①春季・新歓期合同地区別単組
代表者会議(近畿・九州地区合同 2月15
日、東北・中部地区合同 2月16日)
2 新年度「新しい仲間を迎えよう」
3 論壇「南海トラフ地震と求められる防災対策」
名古屋大学減災連携研究センター長 教授
鷲谷 威(さぎや たけし)

4 単組からのレポート
・秋田大学
「最近の活動について」
・名古屋工業大学
「労働組合をイチからわかってもらいしょう」
・島根大学
「島根大学職員組合レポート」

運営費交付金の抜本的な増額を！

政党、国会議員への要請を実施

【今回要請を行った政党、国会議員】



立憲民主党 2月26日(水)

近藤昭一衆議院議員、大島敦衆議院議員、津村啓介衆議院議員、東克哉衆議院議員、阿部とも子衆議院議員、池田真紀衆議院議員、落合貴之衆議院議員、金子恵美衆議院議員、下野幸助衆議院議員、田嶋要衆議院議員、藤原規真衆議院議員、升田世喜男衆議院議員、奥村政佳参議院議員、川田龍平参議院議員



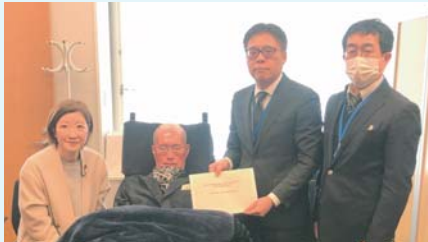
日本共産党 2月4日(火)

吉良よし子参議院議員



国民民主党 2月4日(火)

西岡秀子衆議院議員



れいわ新選組 2月27日(木)

大石あきこ衆議院議員、
船後靖彦参議院議員

特に、人件費や光熱水費、日常の教育研究費など、教育研究を実施する上で必要となる最も基盤的な経費である「基幹経費」(運営費交付金から「ミッション実現加速化経費」と「特殊要因経費」を除いた部分)が不足しています。共通指標による評価によって「基幹経費」を配分する仕組みや各大学のミッション実現のために「基幹経費」に係数をかけて財源を確保する仕組みも減少・不安定化の要因となっています。

外部資金や競争的資金の獲得に努力しているものの、これらは時限の経費であることから長期的な課題に対する安定的な財源として見込むことは困難です。「基幹経費」の不足により、多くの大学では人事の不補充や凍結を余儀なくされ、若手研究者の半数以上が任期付きの雇用となっています。全大教が実施したアンケートでは、「自費を持出しして研究している」「恒常的な研究費が激減し、プロジェクト経費が増えるばかりで、長期的な展望での研究ができない。目先の成果を求めることばかりを続けている」と、真に独創的な研究は生まれない「研究費用が足りず、常に研究費

最も基盤的な経費である「基幹経費」が不足

運営費交付金は減少、 教育研究の実施に必要な経費は増加

国立大学等の運営費交付金は法人化時から10数%減少しています。一方で、教育研究の高度化への対応や

社会保険料等の義務的経費の増加により、教育研究の実施に必要な経費は増加しています。

全大教中央執行委員会は2月、国公立大学・大学共同利用機関・国立高専の運営費交付金の抜本的な増額を求めて、政党、国会議員への要請を行いました。全大教からの要請趣旨と政党、国会議員からの意見は次の通りです。

物価高騰や人件費増加への対応も喫緊の課題

の申請書を書いていて、研究時間が足りない」「学部として開講すべき科目の教

加えて、昨今の物価の高騰や人件費の増加への対応も困難を極めており、人事

授業料の無償化と奨学金の充実のためにも、 運営費交付金の抜本的な増額が必要

国立大学の授業料の引上げの動きが生じている一方で、多くの政党が教育の無償化に関する政策を掲げています。各大学からは、授業料引上げの検討の理由と増額が必要です。

運営費交付金の抜本的な増額、 特に「基幹経費」の増額が必要

今回の要請では、運営費交付金の状況をはじめ、参加者から国立大学等の現場の実態などを説明し、国立大学等における教育研究の充実に向けては、運営費交付金の抜本的な増額、特に「基幹経費」の増額が必要であることについて理解を求め、国会審議等さまざまな機会を通じて尽力を求めました。

各政党、各議員からは、国立大学等における教育研

究の重要性と運営費交付金の抜本的増額の必要性、施設の老朽化対策、地方における国立大学や国立高専の役割と重要性、教職員の労働条件の改善、学生が経済的な不安なく学ぶことができる環境整備など、数多くの意見がありました。

また、より積極的な情報発信や今後も継続的な要請活動を期待したいなど、激励もいただきました。

(書記長 永井信)